



奈良県感染症情報

平成 29 年 第 19 週(5 月 8 日～ 5 月 14 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 病原体(ウイルス)検出情報(4 月)
- 保健研究センター5 月だより 今シーズンのA群ロタウイルスの解析状況について

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	7.24	(4.68)	↗	→	↑	↑
2	A群溶連菌咽頭炎	2.38	(1.88)	→	→	→	↑
3	咽頭結膜熱	1.53	(0.94)	↑	→	↑	↑↑
4	水痘	0.56	(0.21)	↑	→	↑	↑↑
4	突発性発しん	0.56	(0.62)	→	↗	→	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

感染性胃腸炎の報告は、再び増加しています。感染性胃腸炎は、ウイルス、細菌、寄生虫など様々な病原体により引き起こされます。食事の前や排便後の手洗いを行いましょう。

咽頭結膜熱が増加しています。感染力は非常に強く、飛沫感染や接触感染により拡がります。家族で同じタオルを使用していると、一人の感染から家族全員が感染してしまうということもあります。タオルの共有は避けましょう。また、プールや温泉施設では、利用の前後にシャワーを浴びるなどの予防対策を行って下さい。

◆ 病原体(ウイルス)検出情報(平成 29 年 4 月) ◆

* ウイルス分離同日での集計結果

検出病原体	北部	中部	南部	その他	臨床診断名
A群ロタ G1		1			感染性胃腸炎(1)
A群ロタ G2	18	11			感染性胃腸炎(4)、ロタ腸炎(25)
A群ロタ G3	5	4			感染性胃腸炎(1)、ロタ腸炎(8)
アストロ		2			感染性胃腸炎(2)
インフルエンザ AH3	6	2			インフルエンザ(7)、ウイルス性筋炎(1)
ヒトメタニューモ		5			気管支炎(2)、急性上気道炎(1)、肺炎(1)、気管支肺炎(1)
コクサッキーA群 6		1			手足口病(1)*
ライノ A		2			肺炎(1)、手足口病(1)*
ライノ C		4			急性気管支肺炎(1)、発疹症(1)、気管支肺炎(1)、気管支炎(1)**
アデノ 2		1			気管支炎(1)**
アデノ 3		1			感染性胃腸炎(1)
アデノ 40/41		1			感染性胃腸炎(1)
水痘・帯状疱疹		2			発疹症(2)
ムンプス G		1			ムンプス髄膜炎(1)

*、**重複感染

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 29 年 第 19 週 5 月 8 日 ~ 14 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	54	14	14	11	10	2	3	
インフルエンザ	24 (0.44)	7 (0.50)	2 (0.14)	4 (0.36)	7 (0.70)	2 (1.00)	2 (0.67)	
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	4 (0.12)			2 (0.29)	2 (0.33)			
咽頭結膜熱	52 (1.53)	10 (1.11)	9 (1.00)	4 (0.57)	18 (3.00)		11 (5.50)	
A群溶連菌咽頭炎	81 (2.38)	17 (1.89)	11 (1.22)	7 (1.00)	41 (6.83)		5 (2.50)	
感染性胃腸炎	246 (7.24)	43 (4.78)	47 (5.22)	67 (9.57)	72 (12.00)	8 (8.00)	9 (4.50)	
水痘	19 (0.56)	2 (0.22)	2 (0.22)	6 (0.86)	6 (1.00)	1 (1.00)	2 (1.00)	
手足口病	16 (0.47)	12 (1.33)	2 (0.22)	1 (0.14)	1 (0.17)			
伝染性紅斑	1 (0.03)			1 (0.14)				
突発性発しん	19 (0.56)	7 (0.78)	3 (0.33)	4 (0.57)	5 (0.83)			
百日咳								
ヘルパンギーナ	2 (0.06)	1 (0.11)	1 (0.11)					
流行性耳下腺炎	11 (0.32)	1 (0.11)	4 (0.44)	1 (0.14)	3 (0.50)	2 (2.00)		
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	9 (0.90)		6 (2.00)	3 (1.50)				
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎	1 (0.17)		1 (0.50)					
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎	6 (1.00)	1 (1.00)	2 (1.00)		2 (2.00)		1 (1.00)	
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	5 (0.83)	2 (2.00)	1 (0.50)		1 (1.00)		1 (1.00)	

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核6件(奈良市3、郡山1、中和1、吉野1)
3類感染症	
4類感染症	つつが虫病1件(郡山)
5類感染症	急性脳炎1件(中和1) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件(郡山1) 水痘(入院例)1例(中和1) クロイツフェルト・ヤコブ病1件(郡山1) 梅毒2件(奈良市1、中和1) 侵襲性肺炎球菌感染症1件(奈良市1)

❖ 第19週のトピックス ❖

ノロウイルス等検出状況

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr-noro.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数

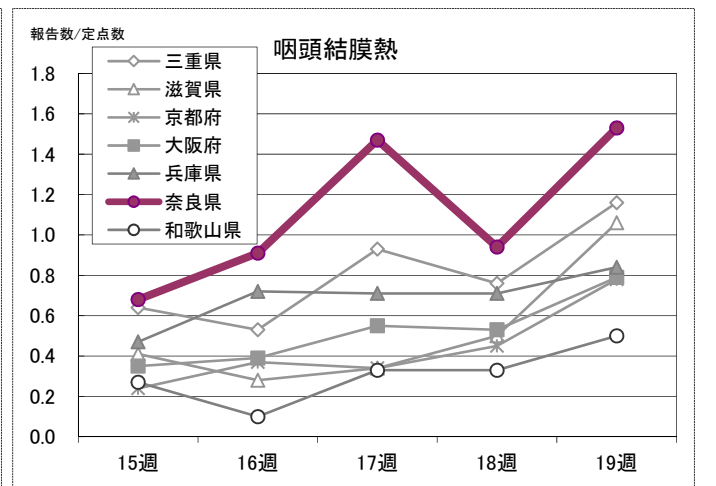
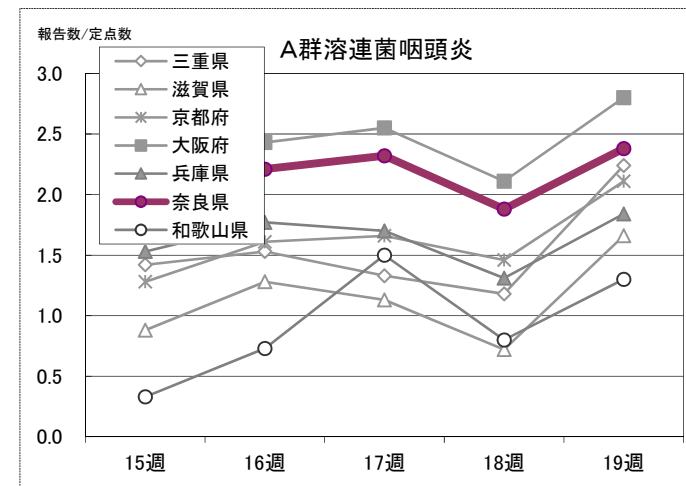
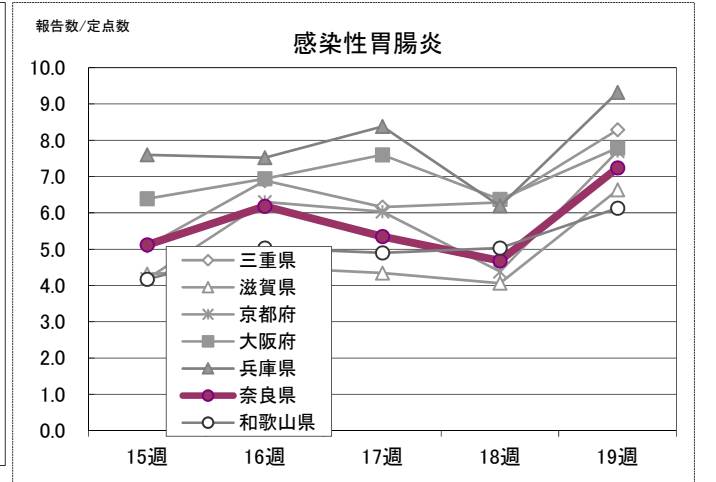
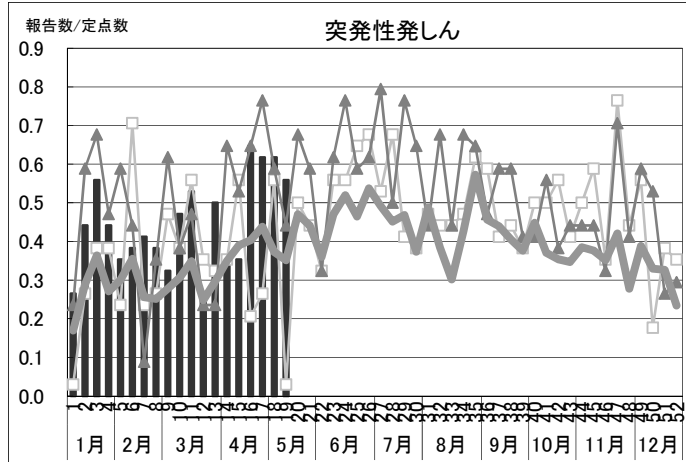
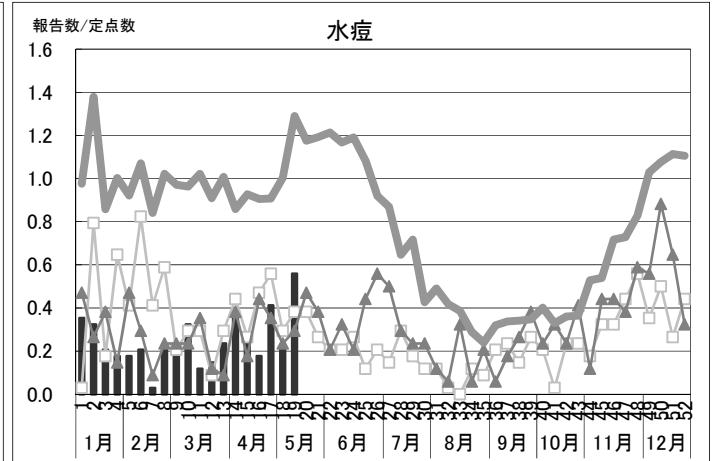
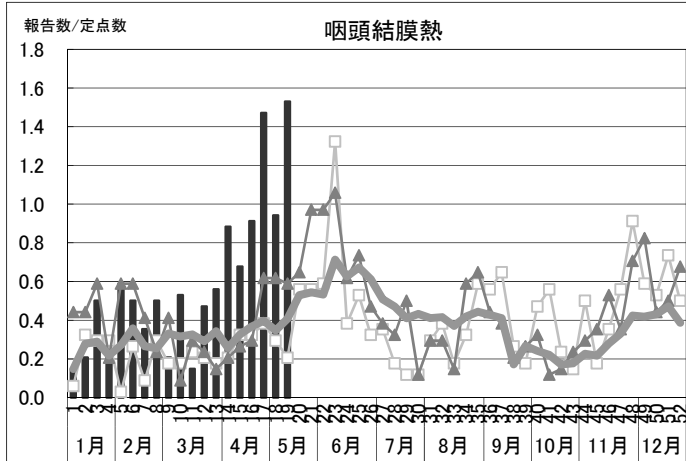
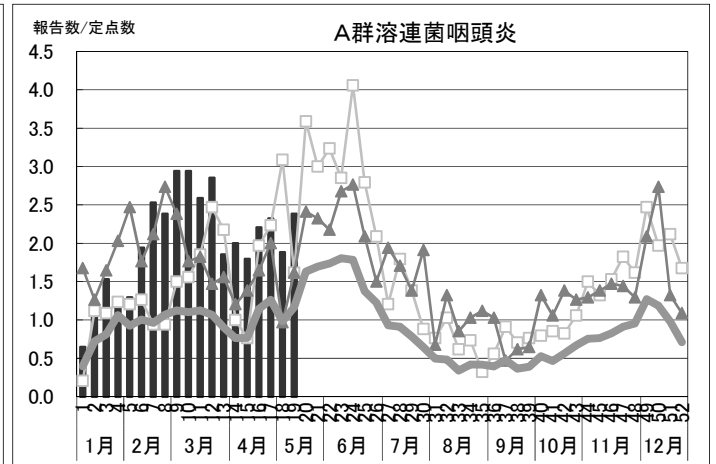
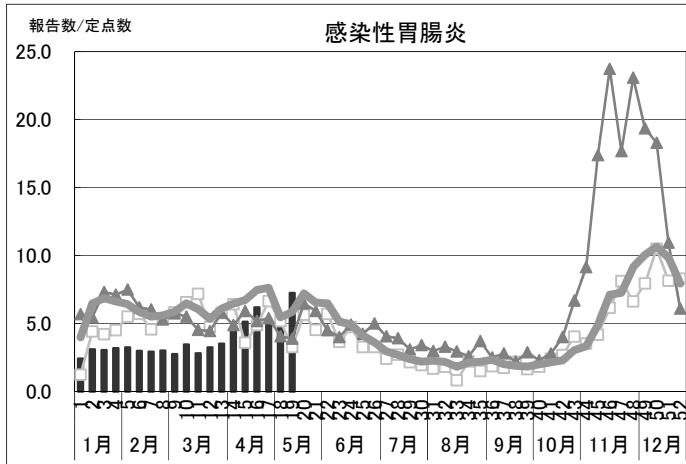
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-	合計	累計
インフルエンザ	男			1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1			1				10	5226
	女									2			3		1				2		14	4975
RSウイルス感染症	男		1	1																	2	229
	女		1	1																	2	213
咽頭結膜熱	男		2	12	3	5	3	1		1			1								28	208
	女	1	5	6	1	1	1	1	3		1		4								24	178
A群溶連菌咽頭炎	男			5	3	5	9	5	3	4	4	3	2								43	695
	女		1	5	2	1	6	2	3	3	1	2	7		5						38	609
感染性胃腸炎	男	1	7	26	12	15	18	6	11	5	6	5	7		10						129	1330
	女		6	17	10	12	14	11	7	7	2	5	11	1	14						117	1143
水痘	男			1		3	1					1									6	77
	女			2	2		5	3					1		1						13	83
手足口病	男			1	3	1															5	64
	女			3	2	3	3														11	63
伝染性紅斑	男								1												1	16
	女																				1	17
突発性発しん	男		5	7	2																14	159
	女		2	2	1																5	129
百日咳	男																					1
	女																					1
ヘルパンギーナ	男				1					1											2	11
	女																					11
流行性耳下腺炎	男							3	1	1			1								6	263
	女						1	1	1			2									5	252
急性出血性結膜炎	男															1					7	40
	女						1	2							1	1	2				2	44
細菌性髄膜炎	男																1				1	4
	女																					5
無菌性髄膜炎	男																					6
	女																					2
マイコプラズマ肺炎	男		1	2					1												3	42
	女			1	1																3	31
クラミジア肺炎	男																					1
	女																					25
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男	1		1																	2	19
	女		1	1						1											3	19

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ H29 ▲ H28 □ H27 〰 過去10年平均



今シーズンのA群ロタウイルスの解析状況について

＜A群ロタウイルスの調査について＞

当センターでは、A群ロタウイルス（RVA）の遺伝子型の解析を継続して実施しています。2011年からロタウイルスワクチンの任意接種が始まったことでウイルスの流行株にどのような影響を与えるのか、流行状況を含めて調査しています。ワクチン接種開始後の2013/14シーズン（例年9月～8月までの1年を「シーズン」としてしています。）には患者数は激減しましたが、2014/15シーズンにはG1型を主とする流行が見られ、昨シーズン（2015/16シーズン）には、G2型がこれまでの調査で初めて主流株になりました。今シーズンも、引き続き、G2型の流行が続いているようです。

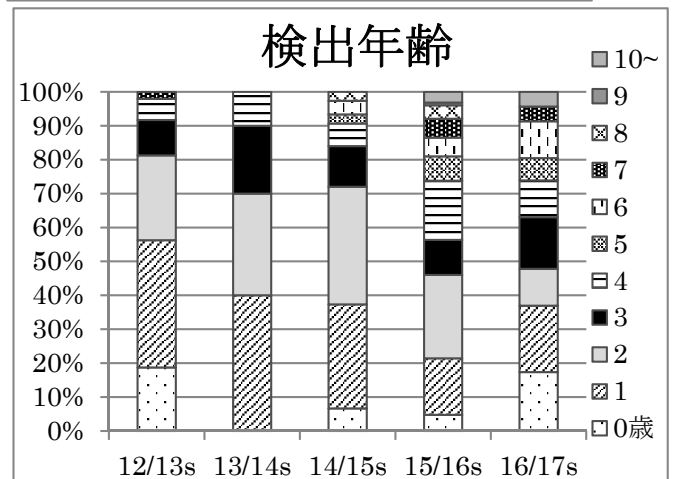
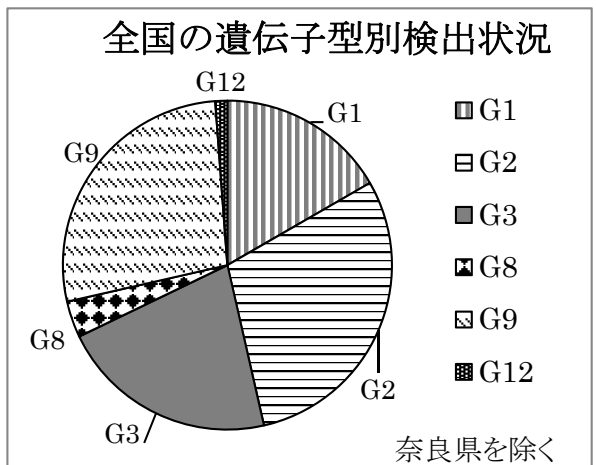
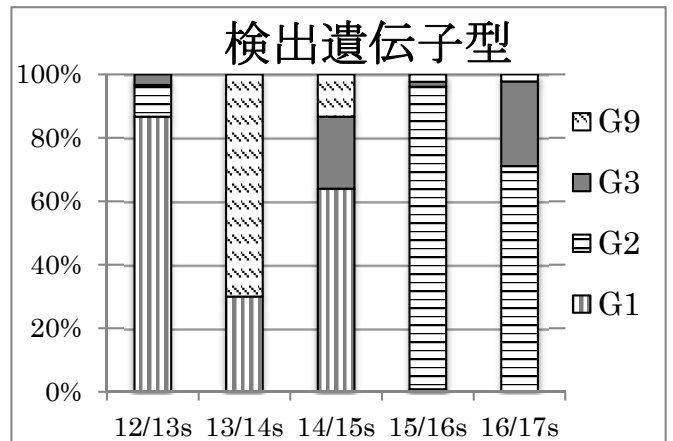
今シーズン（2016年9月～2017年4月）のRVA解析状況についてお知らせします。

＜調査結果＞

感染症発生動向調査でRVAを検出した45例について亜型解析を行いました。検出したRVAの遺伝子型は、G2型が32例（71%）、G3型が12例（27%）、G9型が1例（2%）で、G1型はまだ検出がありません。G2型ばかりが流行した昨シーズンに比べると、G3型が多くなっています。なお、全国の遺伝子型別検出状況では、G2型が最も多く、ついでG9型が多くなっており、奈良県とは少し異なります。

患者年齢は、0歳7例、1歳9例、2歳5例、3歳7例、4歳5例、5歳3例、6歳5例、7歳2例、10歳以上2例でした。2歳以下が80%以上を占めていた12/13シーズンと比較すると、3歳以上の割合が多くなっており、昨シーズンに引き続き、平均の患者年齢は3.6歳と高くなっています。なお、ワクチン接種済みの患者が15例（33%）ありました。ワクチン未接種の患者では、脱水症状や症状の悪化により入院を要する事例も報告されています。ワクチン接種を行っていても、発症し、胃腸炎などの症状が出現することもあります。軽症で済むことが多いとされています。

今後も継続したウイルス動向のデータを蓄積し、県内の流行の変化・変動を詳細に解析・把握に努めていきたいと考えています。奈良県感染症発生動向調査にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。



＜ウイルス・疫学情報担当＞